デジタルレベルチェッカー LCV3
追加機能について

ご使用になる前に、必ずお読みください

製品向上のため、デジタルレベルチェッカーに搭載しているソフトウェアの仕様を変更しました。

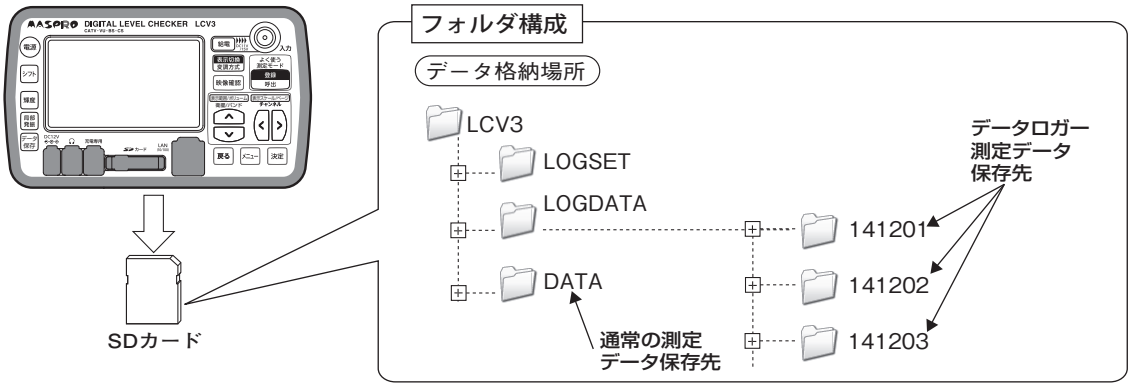
●追加機能の内容は、Ver1.20で対応しています。Ver1.10以前を使用している場合、下記当社ホームページから、最新のソフトウェア更新ファイルをダウンロードしていただき、バージョンアップを行なってください。
http://www.maspro.co.jp/support/checker/index.html

変更内容

●データロガー 測定データの保存先　（p.1）
●データロガー 測定データのファイル容量　（p.1）
●データロガー 測定データの結合　（p.2 ～ 3）
●初期値の変更　（p.3）
●画質マークの表示(スカパー！プレミアム)（p.4）

データロガー 測定データの保存先

データロガーの測定データは、日付ごとに自動作成されたフォルダに保存されます。
例）2014年12月1日に測定された測定ファイルは、「141201」フォルダに保存されます。



●結合した測定データは、日付フォルダではなく、「LOGDATA」フォルダに保存されます。

●日付ごとのフォルダに保存されるのは、データロガーにより作成された測定データのみです。
通常の測定データは、全て「DATA」フォルダに保存されます。

データロガー 測定データのファイル容量

データロガーにより作成された、測定データファイル1個あたりの容量の目安は以下のとおりです。
表のファイル容量を目安に、必要なSDカードの容量を算出してください。また、本体の画面でSDカードの空き容量とデータ取得可能日数を確認することができます。
[取扱説明書(p.74)]

測定項目	ファイル1個あたりの容量（目安）
レベル･MER･C/N･BER	0.1KB
コンスタレーション	30KB
遅延プロファイル	30KB
スペクトラム測定	25KB
映像(静止画)	300KB

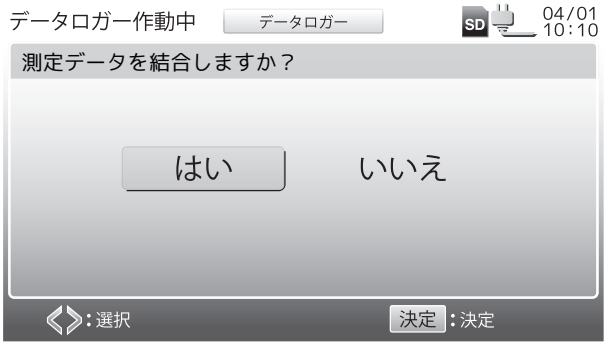
●受信状況や測定種別により、ファイル容量は変化します。
●データロガーでは、測定ごと、チャンネルごとに測定データファイルが作成されます。
●左図の全ての項目を、3チャンネル･5分間隔で、1日測定した場合、SDカードには約330MBの空き容量が必要です。

データロガー 測定データの結合

データロガーでは、測定ごと、チャンネルごとに測定データファイルが作成されます。
データロガーの終了後に、レベル･MER･C/N･BER測定データを結合できます。
測定データを結合することにより、レベル･MER･C/N･BER測定データがひとつの
ファイルになり、データ分析がしやすくなります。

① データロガーの終了、またはデータロガーの中止後[取扱説明書(p.76)]

② 測定データの結合の選択



測定データを結合する場合

◁▷で「はい」を選び

決定 を押す

●結合された測定データは、SDカードの「LCV3」フォルダ内の、「LOGDATA」フォルダに保存されます。

測定データを結合しない場合

◁▷で「いいえ」を選び

決定 を押す

●測定データの結合では、レベル・MER・C/N・BER測定データのみ結合できます。
●データロガーの開始から終了までに測定したデータを、ひとつのCSVファイルに結合できます。
●測定データの結合を実行すると、結合前のCSVファイルは消去されます。
（測定データの結合を実行しても、コンスタレーション、スペクトラム測定、遅延プロファイル、映像のデータは消去されません）

測定データの結合には時間がかかります。この間は操作できませんからご注意ください。
データロガーの設定と、1日あたりのファイル数、結合時間の目安は以下のとおりです。

データロガーの設定		1日あたりのファイル数（目安）	結合時間（目安）
測定間隔（分）	チャンネル数		
連続	1	6000	4時間
5	10	3000	1時間
15	10	1000	10分

●使用するSDカードにより、結合時間は変化します。
●結合時間は、結合するファイル数によって変化します。

データロガー 測定データの結合 つづき

パソコンを使用してLCV3のデータロガーの測定データを結合することができます。
パソコンで結合すると、LCV3本体での結合より短時間で結合することができます。
結合にかかる時間の目安は以下のとおりです。

ファイル数	結合時間(目安)
6,000個	30秒
12,000個	40秒
24,000個	80秒

測定条件
OS　Windows7
CPU　Intel Core i5

パソコンを使用して結合する方法

Windowsのコマンドプロンプトを使用し、測定データを結合してください。

① パソコン上の任意の場所に、フォルダを新規作成します。
例) Cドライブの直下に、「測定データ結合」フォルダを作成します

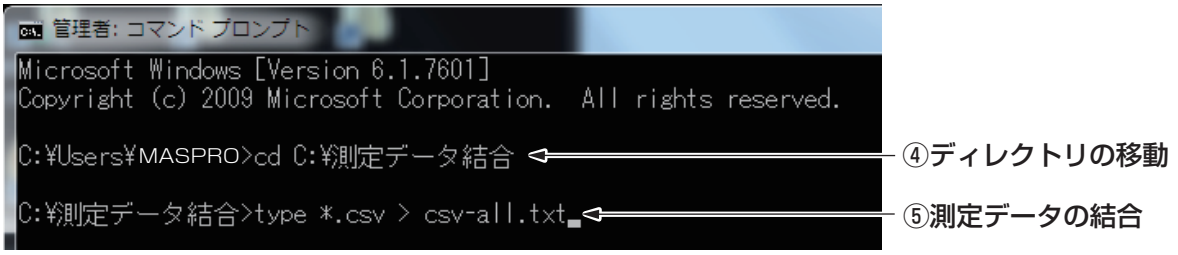
② 作成したフォルダ内に、結合したい測定データのファイルをコピー・ペーストします。
●測定データは、SDカードの「LCV3¥LOGDATA¥日付ごとのフォルダ」に保存されています。

③ 画面左下のスタートボタンをクリックし、“すべてのプログラム/アクセサリ”からコマンドプロンプトを起動します。

④ コマンドプロンプトの、“cd”コマンドで、ディレクトリを①で作成したフォルダに移動します。
●”cd +半角スペース”と入力したあと、①で作成したフォルダをドラッグ(つかみ)、コマンドプロンプトのウィンドウの上でドロップ(離す)します。その後、”Enter”キーを押します
例) Cドライブ直下に”測定データ結合”というフォルダを作成した場合は、”>cd C:¥測定データ結合”と表示されます。

⑤ 下記コマンドを入力し、“Enter”キーを押します。
type ＊.csv > csv-all.txt

⑥ 結合された測定データのファイル(ファイル名”csv-all.txt”)が、①で新規作成したフォルダに作成されます。
●作成されたファイルは、CSV形式です。必要に応じて拡張子を“csv”に変更してください。



コマンドプロンプト入力例

初期値の変更

スカパー!プレミアムサービスの標準画質放送の終了にともない、JCSAT-3Aの映像確認チャンネル設定の初期値「J11」を削除しました。
スカパー!プレミアムサービスの映像確認は、JCSAT-4Bで行なってください。
[取扱説明書(p.150)]

●ソフトウェアの更新では、映像確認チャンネル設定の値は削除されません。取扱説明書にしたがって、JCSAT-3Aの映像確認チャンネル設定の値を削除してください。[取扱説明書(p.119)]
●ソフトウェアを更新し、初期化を行なった場合、JCSAT-3Aの映像確認チャンネル設定の値は削除されます。[取扱説明書(p.127)]

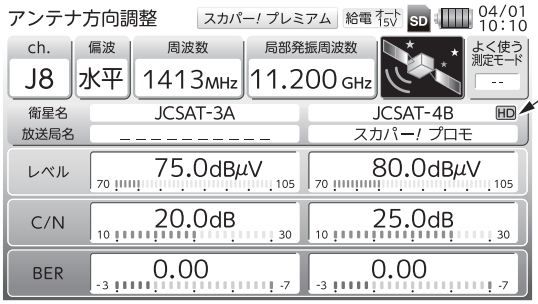
画質マークの表示

スカパー!プレミアムサービスの測定画面で、測定しているチャンネルの画質マークを表示します。

対象範囲

- ●アンテナ方向調整内のスカパー!プレミアム[取扱説明書(p.26～28)]
- ●単チャンネル測定内のスカパー!プレミアム[取扱説明書(p.45～48)]
- ●データロガー測定時のスカパー!プレミアム[取扱説明書(p.68～77)]

アンテナ方向調整画面

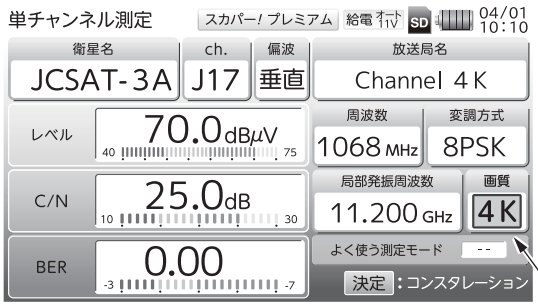


画質マーク

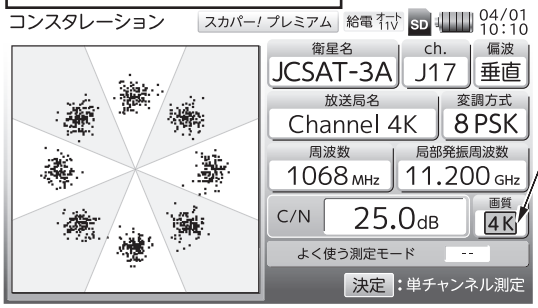
測定しているチャンネルの画質(画角)によって、4K、HD、SDのいずれかが表示されます。

- ●入力信号の信号レベルやC/Nが極端に低い場合や、受信している電波がスカパー!プレミアムサービス以外のときなどは、画質マークは表示されません。

単チャンネル測定画面



コンスタレーション画面



画質マーク

測定しているチャンネルの画質(画角)によって、4K、HD、SDのいずれかが表示されます。

- ●入力信号の信号レベルやC/Nが極端に低い場合や、受信している電波がスカパー!プレミアムサービス以外のときなどは、「ー」が表示されます。

●放送局名を切換えると、画質マークが切換わることがあります。放送によって画質(画角)が異なるため、放送局名の切換え方法は、取扱説明書(p.47)をご覧ください。

●スカパー!プレミアムは、スカパー!プレミアムサービスの略です。

商標について

- ●Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ●Intel Core i5は、Intel Corporationの商標または登録商標です。
- ●その他記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

＝マスプロ電工＝

2K62-484 SY(TK)-412-484-1T

DEC., 2014